

問 1 (PC の管理)

設問 1 a.ウ b.イ

J 社の台帳には、表 1 で示す PC の情報が一覧形式で記入されているため、PC ごとに OS の種類とメモリの容量がすぐに分かる。したがって、特定のアプリケーションソフトに対応している PC かどうかは適切な更新がなされている台帳を見ることによって特定することができる。

ただし、ウイルス対策ソフトのパターンファイルは社員によって更新されているため、台帳の情報だけでは把握できず、PC を直接確認しなければならない。

設問 2 イ・エ・オ

イ = [収集可能な PC の情報] の (2) のうち、「ウイルス対策ソフトのパターンファイルのバージョン」を参照。

エ = [収集可能な PC の情報] の (2) のうち、「インストールされているアプリケーションソフトの種類とバージョン」を参照。

オ = ハードウェアの情報は、構成管理ツールにおける管理者の画面で一覧および個々の情報を表示できる。

設問 3

c.ウ d.ア e.キ f.オ g.イ

c = 管理者の権限でアプリケーションソフトをインストールできる。

d = 社員の業務に支障が出ない範囲で出力を制限する。

e = 2.0 へのアップグレードとセキュリティソフトのインストールができるのは、PC の情報一覧より製品 D だけだと分かる。製品 B は CPU クロック数が 1.2GHz のため

2.0 をインストールできないことに注意。

f .ハードウェア要件を満たす製品 C の OS は 2.0 であるため、へのアップグレードはできない (表 1 の注) 。そこで、2.0 を新規にインストールする。

g .製品 A および B はハードウェア要件を満たしていないので、買い替えが必要である。

問 2 (バックアップ運用)

設問 1 a.ア b.イ c.ウ

d.ア e.ア f.イ

方式 2 と方式 3 の違いに注意し、バックアップの時間を考える。

設問 2 g.イ h.ク i.オ j.ア

木曜日の業務時間中にハードディスクの故障が発生したことから、前日 (水曜日) のバックアップまでしか残っていない。

g .組合せ 1 はすべて方式 1 でバックアップすることから、水曜日 (B) の磁気テープがあればよい。

h .組合せ 2 では平日に前回バックアップからの変更をバックアップするので、例えば水曜日の状態まで回復するには火曜日の磁気テープが必要になる。また、火曜日の状態まで回復するには月曜日の磁気テープが必要になる。……という点に注意。

i .前週の金曜日に方式 1 で全バックアップした磁気テープと前日の水曜日に方式 2 で差分バックアップした磁気テープがあればよい。

j .回復までの所要時間を短くするには、バックアップの時間がかかることは犠牲にしても、組合せ 1 がよい。